

インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢(ISAK)

世界 15 カ国から一期生を迎え開校

2014年8月25日

報道関係者各位

学校法人インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢 (ISAK)

代表者名 代表理事 小林 りん 校長 ロデリック・ジェミソン

学校法人インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢(略称:ISAK(アイザック)、長野県北佐久郡、代表理事:小林りん、<http://isak.jp/jp>)は、世界 15 カ国から一期生 49 名を迎え、開校いたしました。

昨日 24 日にキャンパスで執り行った開校式には、下村博文文部科学大臣、阿部守一長野県知事をはじめ、約 150 名のご支援者、学校立ち上げに関わった関係者にご列席いただきました。

ISAK は、「アジア太平洋地域そしてグローバル社会のために、新たなフロンティアを創り出し変革を起こせるチェンジメーカーを育てる」ことをミッションに掲げ、国籍だけでなく社会的にも経済的にも多様なバックグラウンドの生徒が共に学ぶ全寮制高校です。海外から半数以上の留学生を受け入れ、日本語(国語)を除くすべての授業を英語で行う全寮制高校としては、日本初の 1 条校*として認可を受けており、2015 年秋には国際バカロレア認定校となる見込みです。

*1条校:学校教育法第1条に掲げられた学校のこと。学習指導要領に基づいたカリキュラムを取扱う。

2014 年度入試の結果について

合格倍率は 4.67 倍。海外からの応募は 6 割超。

募集対象: 2014 年 8 月時点で中学校 3 年間で修了している男女

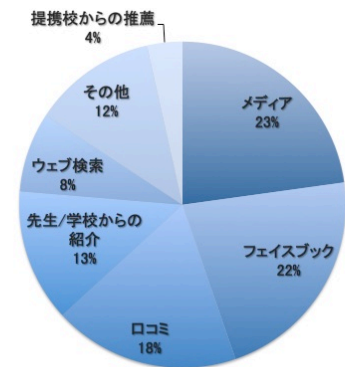
応募総数: 233 名(内 34%が国内から、66%が海外からの応募)

応募者出身国: 日本、オーストラリア、チリ、中国、ガーナ、インド、インドネシア、イスラエル、マレーシア、ネパール、フィリピン、ソマリア、スペイン、スーダン、台湾、タジキスタン、ウガンダ、タイ、イギリス、アメリカ、ベトナム(計21カ国)

選考方法: 一次試験は書類選考〔提出書類:6ページの記述式問題(小論文2ページ分含む)、推薦状、成績証明書、計11ページ〕、二次試験は対面またはスカイプ面接。

合格者: 50 名(1 名辞退のため、入学者は 49 名) ※詳細は 2 ページ目参照

応募者の認知経路



ISAK のリーダーシップ教育について

ISAK では、リーダーシップとは地位や肩書きではなく、先天的に与えられる能力でもなく、繰り返し鍛錬を積み重ねて身につく「スキル」と考えています。多様化し、混沌を極める次代のアジアを中心とした世界において、常に本質的に大切なことを軸に行動し、社会に貢献できるリーダーを輩出するため、次の3つの力を養います。

1. 多様な価値観を受け入れ、活かす力
2. 課題を発見する力
3. 失敗を恐れず行動する力

脳科学をベースとして、リーダーシップに必要なマインドセットを学ぶ「マインドフル・セルフディシプリン」と、周囲を巻

き込んでイノベーションを起こすためのスキルを学ぶ「デザイン思考」を組み合わせた独自のプログラム、「Leadership by Design」を中心に、社会に新たな価値を創出するリーダーシップを備えた人材を育成します。

ISAK が日本初である点

▶ 海外から半数以上の留学生を受け入れる1条校

ISAK は、全体の約 7 割はアジア太平洋地域を中心に海外から生徒を受け入れます。これほど多くの留学生を受け入れる全寮制の国際高校で 1 条校に認められているのは、2014 年 8 月現在、当校のみです。尚、一期生の国籍は、日本、タイ、マレーシア、米国、ベトナム、フィリピン、ネパール、インド、チリ、中国、タジキスタン、台湾、ソマリア、スペイン、オーストラリアの 15 カ国で、内日本人は 18 名です。

▶ 真の多様性を追求する、全寮制のインターナショナル・ハイスクール

当校は、少なくとも学年の 2-3 割の生徒に全額または部分奨学金を支給し、真の多様性を実現します。国籍だけでなく、社会的にも経済的にも様々なバックグラウンドの高校生が寝食を共にする学習環境で、「多様性を受入れ、活かす力」を養います。(2014 年度は、5 割以上の生徒に全額または部分奨学金を支給。)

▶ 国際バカロレア(IB) ディプロマ・プログラムを全校生徒が受講する高等学校

当校は、2013 年 9 月 1 日付で、国際バカロレア機構より「国際バカロレア認定候補校」として認められました。開校後、数ヶ月に渡る審査を経て、遅くとも 2015 年秋には認定校となる*予定です。現在、一部に IB コースなどを設けている高校は存在しますが、全校生徒が IB を受講する高等学校は、当校が初めて**となります。当校は、2011 年 11 月に文部科学省より教育課程特例校指定を受けており、IB のカリキュラムも含め授業はすべて英語で行い、卒業後は世界中に門戸が開かれる学校となることを目指しています。

*開校時はまだ認定候補校の段階ですが、IB ディプロマ・プログラムは、高校 2 年次、3 年次に受講する教育プログラムであるため、1 期生もディプロマ取得が可能です。

**全校生徒に IB の MYP(Middle Years Programme:中学生向けのコース)を導入している中学校は存在します。

▶ 人々の「想い」を集めて設立された学校(寄付総額は 14 億円)

2009 年に発足したこの学校プロジェクトは、設立資金と、生徒の奨学金を含む運営資金のすべてを、学校の理念と哲学に共感してくださった多くの個人、法人の方々のご寄付により賄っています。2014 年 7 月現在、ご寄付額は約 14 億円に上っています。

学校概要

所在地:	長野県北佐久郡軽井沢町長倉 5827-136 (施設:校舎棟、体育館、寮3棟、運動場)
敷地面積:	24319.56 m ² (延べ床面積:4859.91 m ²)
対象生徒:	高校 1-3 年生の男女(編入不可)、各学年約 50 名
卒業資格:	1) 日本の高専卒業資格、2) 国際バカロレアディプロマ(見込)
奨学金制度:	国籍に関わらず、最低でも全体の 2-3 割の生徒に部分または全額奨学金を給付(審査あり)
学費:	250 万円+寮費 100 万円

※2010 年より毎夏、体験プログラムとして中学生を対象とした 10 日間のサマースクールを開催。今年の応募は 43 カ国から 540 名。

今後の予定

2014 年 10 月 1 日	2015 年度入試 募集要項公開 (ウェブサイトにて)
2014 年 10 月 4 日	学校説明会*(大阪)
2014 年 10 月 5 日	学校説明会*(東京)
2014 年 10 月 26 日	学校説明会*(東京) *2015 年度入学希望者対象。詳細は後日ウェブサイトにて公開。

報道関係者用お問い合わせ先

学校法人インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢 (ISAK)

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉 5827-136 電話番号: **0267(46)8623**

Email: press@isak.jp 公式ウェブサイト: <http://isak.jp> 公式 Facebook ページ: <http://www.facebook.com/ISAK.jp>